

平成28年度 指定管理者制度外部評価

1 施設名称等

施 設 名 称	夢みらい館・さばえ
指 定 管 理 者	夢みらいWe
所 管 部 署	総務部 市民協働課 女性活力・人権推進室

2 総評

全体的には、過去9年間の指定管理者として蓄積された経験を基に、適正に事務を遂行され、事業ごとのアンケート結果を次の企画運営に活かすことなどにより、事業の改善に努められており、利用者数も年々増加していることから適切な管理・運営がなされていることを評価します。

課題としては、市民へ男女共同参画拠点としての活動内容の周知にさらなる工夫と努力が必要かと感じます。活動の目的、施設の役割を明確にして広く発信していくことが求められます。

また、今まで以上に、男女共同参画の視点を地域活動に活かしていくよう、地域や団体等、様々な場へ出向き、幅広い世代を巻き込んで、夢みらい館・さばえの事業充実、認知度の向上につなげていただきたいと思います。

今後も、利用者の意見を反映させ、サービス向上に努めると共に、一層の努力とアイデアで、市民や市民団体の男女共同参画に関する自主的活動を支え、連携・協働しながら、男女共同参画のかけがえのない拠点として運営していかれることを期待します。

3 評価結果一覧

評価項目		指定管理者 自己評価結果	第三者評価機関 評価結果
第1 総則			
1 施設の設置目的に基づく基本方針	施設の設置目的に基づいた管理運営上の基本方針があり、職員が理解しているか。	A	A
2 施設目的の達成度	施設の管理運営を通して、施設の設置目的を達成しているか。	A	A
3 職員の勤務実績、配置状況	管理職を含む常勤職員および非常勤職員の勤務実績、配置状況は適切か。	A	A
4 職員のマナー	利用者に対する職員の接客マナーは適切か。	A	A
5 開館の実績	仕様書または事業計画書のとおりに開館しているか。	A	A
第2 施設・設備の維持管理			
1 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理し、安全性の確保および良好な機能の保持を行っているか。	A	A
2 備品の管理	施設の備品を適切に管理しているか。	A	A
3 清掃業務	利用者が快適に利用できるよう、清掃が行き届いているか。	A	A
4 警備業務	安全、安心な環境を確保しているか。	A	A
5 ごみ排出量の抑制への取組み	ごみ排出量の抑制に向けた取組みを行っているか。	A	A
第3 運営およびサービスの質の向上			
1 利用実績の把握等	施設の稼働率および利用実績の推移について、把握および分析しているか。	A	A
2 利用しやすい受付案内の実施	利用者が利用しやすい受付案内を実施しているか。	A	A
3 施設の広報、施設の情報の提供	すべての利用者が等しく施設の情報を得ができるよう、適切な情報の提供を行っているか。	A	A
4 サービス水準の確保	個々のサービスについて、対応職員によって差が生じないよう、施設のサービス水準を確保するための取組みを行っているか。	A	A
5 個人情報の保護	個人情報の保護体制を確立し、適切な運用を行っているか。	A	A
6 事故防止対策への取組み	事故防止のための体制を確立し、事故防止策を講じているか。	A	A
7 事故発生時の対応体制の確立	事故発生時における対応体制を確立しているか。	A	A
8 災害発生時の対応体制の確立	災害発生時における対応体制を確立しているか。	A	A
9 利用者の意見・苦情を活かす仕組みの整備	利用者にとって意見や苦情を伝えやすい環境を整えているか。	A	A
10 自主事業、独自の工夫等	施設の設置目的を達成するため、施設を最大限に活用するため、利用者のニーズに対応するために、独自に工夫して取り組んでいる事業等があるか。	A	A
第4 収支状況			
1 指定管理料の執行状況	指定管理料を適正に執行しているか。	B	B
2 収支決算状況	収支状況は極端な赤字になっていないか。人件費割合、外部委託割合などは適正な値か。		
3 経費節減状況	経費節減のための努力を行っているか		
第5 その他			
1 男女共同参画を推進していく拠点としての取組み	男女共同参画を推進していく活動拠点としての事業を実施しているか	A	A
2 子どもが安心して活動できる場所としての取組み	子どもがのびのびと安心して活動できる場所としての事業を実施しているか	A	A

4 指摘事項報告書 兼 対応策回答書

	第三者評価機関記入欄	指定管理者記入欄	対応する評価項目
	指摘事項（重大なもの）	対応策 (いつまでに、どのような方法で、解決するのか。)	
	特記事項なし	特記事項なし	
	指摘事項（軽微なもの）	対応策	対応する評価項目
1	H P 上に男女共同参画についての基本的説明があるとよい。事業イベントがただのお楽しみ会に感じてしまうので、何を目的にしているのか明確にするとよい。	今後、事業案内や報告だけでなく、事業の目的や事業を行ったことによる成果（アンケート結果など）を、掲載していきたい。	第3 3 施設の広報、施設の情報の提供
2	館内だけの事業では参加者が偏る。他団体との連携による出前事業等の計画はあるのか。	現在、さばえ男女共同参画ネットワークが独自の事業として地域の文化祭などの啓発事業（朗読劇）をされているが、夢みらい館としても、地域での出前講座が開催できるよう、夢みらいWe理事を中心に行っている。今後、公民館との協議を行い、男女参画講座として開催できるように協力を求めていきたい。 現在、神明幼稚園と協働して、家庭での男女共同参画の問題や、子育ての不安・喜びを語り合う、井戸端談義を年5回計画し実施している。	第3 10 自主事業、独自の工夫等